

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 周南市立太華中学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☒ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 745-0801

山口県周南市大字久米4 1 1 7 番地の4

E-mai Taikacjm@shunan.ed.jp

Website http://www.shunan.ed.jp/taikachu

幼児児童生徒数 男子 163 名 女子 182 名 合計 345 名

幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、自ら気づき、考え、よりよく行動する生徒の育成を学校理念として、ESDを地域貢献活動と捉え、ESDの実践を通して、他人、社会との関連性を認識し、関わり、つながりを尊重できる個人の育成を目標とした。

具体的には、地域貢献ボランティア活動を柱に、年間15回にわたる活動を行った。以下、その代表例を紹介したい。

① 自然公園クリーンデーin太華山

校区内にある太華山の登山道に落ちている落ち葉を、櫛浜愛山会の方々と一緒に清掃を行う活動を行った。当日は愛山会の方々から細かなご指導をいただき、2時間余りではあったが、中腹から登山道入り口までの数キロに落ちているゴミや倒木などを取り除くことができた。参加した生徒は、地域の方と登山道をきれいにすることで地域の方に褒められ、自己肯定感を高めることができた。また、校区内の自然公園の美化に対する意識を高めるとともに、貴重な地域の財産として地域に住む一人として守り続けて行きたいという意識を高めることができた。

② 久米地区敬老会ボランティア

75歳以上の方々をお迎えして行われる敬老会に、受付及び会場内でのお世話を行うボランティアに参加した。自治会ごとの受付をした後、会場の席に案内した後、お茶の接待、お弁当の配布などを行った。その後、幼稚園・小学校・一般の出し物を一緒に見学した後、見送りをした。参加した生徒は、参加者から温かい言葉をかけていただき終始明るい表情で活動していた。高齢者とのふれあいを通して、いたわりの気持ちを学ぶことができた。

③ あたたかい心を贈る運動ボランティア

檳浜地区の婦人会が作られる手作りのおせち料理を、民生児童委員のみなさんと生徒が一人暮らしをしておられる75歳以上の高齢者の自宅を訪問して手渡しで届ける活動を行った。民生児童委員の方々と生徒がグループをつくり、配達エリアを決めて1グループ5～6件を訪問する。訪問先では、おせち料理を配るだけでなく、高齢者に一言温かい言葉を添えて届けることを心がけている。高齢者から生徒には、学校生活や将来の夢などについての声かけもあり、心温まる活動となった。

④ 久米地区どんど焼きボランティア

久米公民館で開かれるどんど焼き及び地域の自主防災協議会のイベントの運営スタッフに生徒が参加した。前日の準備では、会場準備の後、スタッフのミーティングが行われ、参加生徒に役割と活動内容に関する詳しい説明があった。また、当日は学校の菜園で栽培した大根を食材に提供した久米汁が婦人会の方から参加者にふるまわれた。地域の方と一帯となって運営した行事に、参加した生徒は満足していた。



① 自然公園クリーンデイ in 太華山



② 久米地区敬老会ボランティア



③ 温かい心を贈る運動ボランティア



④ 久米地区どんど焼きボランティア

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (ボランティア活動)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他 (自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他 (自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特になし

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのような

に位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200～300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、校区内にある2つの公民館と連携し、地域のコミュニティ活動に中学生が、補助スタッフとして参加するボランティアを行っている。参加形態については、ボランティア部の生徒の自主参加となっている。例年多くの生徒が参加しており、本年度は15回の開催に対して、延べ約300名が参加した。また、本年度もユネスコのボランティアパスポートを活用し、各種団体が募集するボランティア活動にも参加している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

本校では、コミュニティ・スクールの活動の中の、地域貢献活動の一環として取り組んでいる。生徒の活動に際しては、公民館主事と連携を図りながら、教職員も地域連携部会を中心に見守る活動を行っている。毎回地域コミュニティの諸団体から、学校生活では味わうことのできない体験を熱心に指導していただき、参加した生徒の意欲は高いといえる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

方法：学校運営協議会における学校評価アンケート
具体的内容：地域のボランティア活動に積極的に取り組んでいるかどうか
成果：4段階評価で、地域住民3.5 教職員3.5
課題：特になし

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

校内文化祭のステージ発表及び展示発表において、校内・校外にむけて活動を発表し、徳山ユネスコ協会の方々を含め地域の方々にも学校の取り組みを知っていただくよい機会となった。また、公民館主事による、年間5回程度地域ボランティアの生徒の活動内容を紹介したボランティア通信を発行している。これを、地域の公民館と学校内に掲示することで、多くの方々に活動を紹介した。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

本校のボランティア活動は、地域に根ざしたものであり、公民館のコーディネートによる活動として、10年にわたって実施されているものである。参加するボランティア活動のほとんどが、地域コミュニティの行事や活動で、地域住民が直接生徒に指導する貴重な機会となっている。今後も学校の伝統として、この活動は継続していくと思われる。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

現在のところ、国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワークは確立されたものではない。今後、異校種間連携が進んでくれば、形成される可能性は高いといえる。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

今年度と同等の活動を予定しています。
具体的には未定です。